

不登校から大学受験、大学生活あるある

はじめに

不登校から大学受験、そして大学生活に入っていくまでには、いくつかの「つまづきやすいポイント」があります。

一般的な受験本や進路本では触れられない部分も多く、

「あれ、うちの子だけ？」と不安になる親御さんも少なくありません。

でも実際は、同じような道をたどった人の多くが共通してぶつかる壁があります。

その「あるある」をあらかじめ知っておけば、心の準備もでき、結果的にスムーズに進みやすくなるのです。

あるある 1 模試は受けない

不登校経験者にとって、模試はハードルが高いもの。

会場に行くこと自体がプレッシャーですし、知らない人に囲まれる

と気力が持たないこともあります。

「模試を受けないと大学受験なんて無理」と思うかもしれませんが、
実は過去問で実力を把握できれば十分。

むしろ模試の結果に振り回されず、自分のペースで学習を進められるメリットもあります。

東工大や早慶に合格した子たちも模試は受けないこともよくありました。

本番は受けますし、大学生活も問題ありませんので、模試をムリに受ける必要は無いと思います。

あるある2 塾や家庭教師に「こんなのもできないの?」と思われるのを恐れる
長く学校に行っていないと、

基礎学力の抜け落ちが多いのは当然です。

でもそこで「笑われるんじゃないか」「こんなことも知らないのか」と呆れられるんじゃないか」と不安になり、サポートを頼みにくくなる場合があります。

大切なのは「いま分からないことは恥ずかしくない」という姿勢。むしろ、素直に聞けるかどうかで学習の伸びが変わってきます。

塾や家庭教師の方にはそのあたりを心得ている人に頼むと良いでしょう。

あるある3 プライドとの戦い

不登校の背景には、繊細さやプライドの高さが関係している場合も少なくありません。

「大学はどこでもいいよ」「ありのままでもいいよ」と親が伝えると、

かえって「分かってない！」と逆ギレされることも…。

これは本人の中で「本当は頑張りたい」という気持ちと「もう無理だ」という気持ちがせめぎ合っているサイン。

プライドを否定するのではなく、時間をかけて「できる範囲でやっ
ていこう」と寄り添うことが大切です。

あるある4 ペースをつかむのは大変

勉強を始めても、集中できる日と全然手につかない日が交互にやっ
てきます。

精神的にもムラがあり、不安定になりがち。

「昨日はあんなにできたのに、今日は全然だめ…」と自己嫌悪に陥
ることも多いです。

でも、そもそも不登校からの受験勉強はフル馬拉ソンを途中から走
るようなもの。

最初から一定のペースを維持できなくて当たり前です。

山あり谷ありを前提に、「できた日はプラス」と考えれば、長期的には必ず積み上がっていきます。

あるある5 滑り止めを受けないことも

一般的な受験生なら「安全校」「滑り止め」を複数受験するのが普通ですが、不登校経験者は違います。

「これと決めた大学しか出願しない」「出願したのに試験当日になって受けに行かない」というケースもあります。

親御さんから見ると理解しづらいですが、これは本人の心理的負担を減らすための選択。

大切なのは「出願した＝必ず受験する」ではない、という柔軟な構えを周囲が持つことです。

あるある6 大学入学後、附属生や推薦組の明るさについていけな

い

やっと入学した大学。

でも待っているのは、附属校からそのまま上がってきた学生や推薦組の明るい雰囲気。

不登校経験者にとっては、この「眩しさ」がむしろしんどく感じられることがあります。

受験で疲れ果てた子が彼らについていくのは難しいもの。

でも安心してください。

最初はギャップに戸惑っても、数か月もすれば自然と慣れていきます。

別に内部生たちも意地悪をしているわけではないからです。

サークルやゼミなど、自分に合ったコミュニティを見つければ、居場所は必ずできるもの。

ただ、このことを知らないと「大学でもボッチだ」と絶望しがちで

す。

なので、あるある6は覚えておいていただければと。

あるある7 就活や大学院など進路選択で悩みがち

大学生活自体はそれなりに楽しめても、

次のステップ=就職や進学になると再び壁にぶつかりやすいのも特徴です。

「自分には何ができるのか」「また失敗するんじゃないか」と悩みやすく、行動が遅れがちになります。

だからこそ、大学の中に少しずつアルバイトやインターン、資格試験などで「リハビリ」しておくことが大切。

いきなり大きな挑戦をする必要はなく、小さな経験を積み重ねることで次の一歩が軽くなります。

おわりに

不登校から大学受験、そして大学生活へ。

道のりには「あるある」と言いたくなる共通の落とし穴がありますが、

それを知っておくだけでずいぶん気持ちは楽になります。

山登りと同じでトラブルになりやすいポイントを知っていれば

OK。

ぜひこれらの「あるある」を頭に入れて前に進まれてくださいませ。

募集

高2～浪人生で受験するという方を募集します。

勉強を直接教えてほしいというコース

勉強は自分でやり進捗管理をしてほしいというコース

親御さん向けコーチングコース

説明会、個別面談を実施しております。関心のある方は下記までご

連絡くださいませ。件名は「個別面談希望」でお願いします。

(メール) futoukou123@gmail.com